



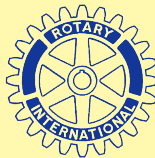
「富士山百景」晩秋の山里

VOL. 2551  
Rotary International

「変化する年度・第一歩」

第2551回例会 2016.9.14

ソング「四つのテスト」



富士ロータリークラブ WEEKLY

<http://fuji-rc.com/>

例会日:毎週水曜日 12:30  
 例会場:ホテルグランド富士  
 TEL(0545)61-0360  
 事務所:〒416-0913 富士市平塚本町8-1  
 ホテルグランド富士内  
 会長:小出隆久  
 副会長:滝克芳  
 幹事:岸本泰次  
 副幹事:石井誠

会長挨拶

小出隆久

あいにくの空模様の中 多数のご出席 ありがとうございます。

本日は、生子(ショウジ)ガバナー、前島ガバナー補佐をお迎えしております。後ほど生子ガバナーよりご挨拶と卓話を頂きます。宜しくお願いいたします。

さて、猛暑の時期をすぎまして 過ごしやすい秋を迎えるものとおもっておりましたら、台風シーズンに突入することを忘れておりました。

ただ、当地区は「富士山」の恩恵により 大した被害もない状況が続いておりますが、万が一のため事前準備をお願いします。

自然には、春、夏、秋、冬の与えられた素晴らしいテーマ・試練があります。

また、RCにも先ほど唱和した「4つのテスト」があります。

自然に負けないよう 目標に向かって 会員の「和」でがんばりましょう！  
 ありがとうございました。



出席報告

野坂富士雄

2551回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
32名	32名	7名	25名	78.1%

2549回 8/17確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
31名	31名	7名	24名	77.4%

[ビジター] 生子哲男君(清水中央RC)  
 前島正容君(富士宮RC)

Rotary ガバナー公式訪問  
 富士山吉原・新富士・富士ロータリークラブ合同例会



日時:平成27年9月14日(水) 12:30~13:30  
 場所:ホテルグランド富士(富士ロータリークラブ例会場)  
 富士山吉原RC 例会第3005回  
 新富士RC 例会第1243回  
 富士RC 例会第2551回

司会:富士RC会場監督 本野仁

式次第

- 開会点鐘 富士RC会長 小出隆久
- 国歌斉唱
- 各テーマ唱和
  - 1. 真実かどうか
  - 2. みんなに公平か
  - 3. 好意と友情を深めるか
  - 4. みんなのためになるかどうか
- 会長挨拶 富士RC会長 小出隆久
- ゲスト及びビジターの紹介 富士RC会長 小出隆久
- 報告事項
  - ① 幹事報告 富士RC幹事 岸本泰次
  - ② 出席報告
    - 富士山吉原RC出席委員長 平井秀樹
    - 新富士RC出席委員長 鈴木一也
    - 富士RC出席委員長 野坂富士雄
  - ③ その他
- 本日の内容
  - RI第2620地区ガバナー公式訪問
  - ガバナー挨拶及び卓話 地区ガバナー 生子哲男
- お礼の挨拶 富士山吉原RC会長 曾根真人  
 新富士RC会長 赤渕浩雄  
 富士RC会長 小出隆久
- 閉会点鐘



例会プログラム予告

9月28日 会員卓話 瀧 真砂人君 10月度理事会

# 『卓話』

国際ロータリー第2620地区  
2016～2017年度ガバナー  
生子哲男氏  
(清水中央RC)



2016年1月16-24日の1週間米国カリフォルニア州サンディエゴで開催された国際協議会に出席してきました。本会議10回、晩餐会2回、アイデア交換6回、ワークショップ4回、のスケジュールで毎日朝8時30分から夜9時過ぎまで、ロータリーの精神や考え方を話し、特にロータリーモーメントでは限られた時間内にいかに相手に伝えるかなど、いろいろなテーマでディスカッションしました。

2016-2017年度RIジョンF・ジャーム会長は、世界200ヶ国以上

535地区(日本は34)のガバナーエレクトとその配偶者、RI役員とその配偶者を含め、約1500名が「マンチェスターグランドハイヤット」に集結し、この国際協議会で次年度のテーマを発表しました。

「人類に奉仕する ロータリー」 ROTARY SERVING HUMANITY

ロータリーの一員である皆さんは、ロータリー活動を通じて社会に貢献し人類に奉仕する「大きなチャンス」である。

そしてまた、社会貢献への熱意を持つ職業人が集うロータリーですから、ロータリー独自の力を生かせば大きな目標も達成でき、発展途上地域におけるきれいな水の提供、紛争地域での平和推進、基本的教育と識字率向上、など世界の中のロータリアンは様々な奉仕活動を行って来ます。その中でも特に重要なのがあと少しと言われているポリオの撲滅であると強調しました。

さらに、ジョンF・ジャーム会長は会員増強に関しても最優先項目としております。私も今年度の地区の目標に最優先項目として、事あるごとにお話しをさせて頂いております。なぜ会員増強と毎年言われ続けなければならないのか良く考えてみましょう。会員を絶えず増強していなければ会員数は自然に減少してしまいます。そして、今の貴方が所属しているクラブの3年、5年、10年後を考えてみてください。特に平均年齢の高いクラブは深刻です。若返りが必要です。これを実行するには会員増強しかありません。

ジョンF・ジャーム会長は、「ロータリーがさらに前進するには意欲と思いやりと知恵にあふれた人たちがもつと必要」、そして「40歳以前の若い人、女性、退職後間もない人、現役で働いている人達がロータリーに入会したくなるような柔軟性のあるクラブが必要」だと言っています。この10年間 世界のロータリアンの数は120万人の横這いですが、これは、何を意味するのでしょうか、この10年間入会したのと同数のロータリアンが退会してる事になるのではないのでしょうか。

どうしたら退会をなくす(減らす)ことが出来るのでしょうか、会員からのフィードバックを基にクラブで会員増強計画を立てて、入会者にとって魅力あるクラブを作り、会員の所属意識を高める方法を会員増強計画に柔軟に取り込んで行くことが重要です。そして、クラブの会員が増えればもつと効果的で、より多くの活動が出来るという事をロータリアンに再認識してもらうことが重要です。

2016年6月末の日本のロータリアンの数は89,756名です。そして、次に来る重要項目は、ロータリー財団への寄付と補助金への積極的活用です、1917年アトランタ国際大会で当時のアーチ・クラフ会長提案でロータリー財団の種がまかれ、その時の寄付額が\$26,500でした、「世界でよいことをする」を掲げ、今年で財団100周年です、現在の財団には2億6千900万ドルの寄付があります。年次寄付、恒久基金(ベネファクター)、大口寄付(メジャードナー)用途指定寄付等がありますが、年次基金(年次寄付)はロータリー財団活動の主な資金源です、毎年続ける寄付で3年後に50%が地区活動資金(DDF)として地区の裁量の下使用される。恒久基金は将来のロータリー財団プログラムの財源で、元金を使わず投資利益のみを使用(ベネファクターがこれに該当する)、年次基金の平均金額 \$150 を目標、ベネファクター各クラブ1名、次はポリオ撲滅ですが、2580地区の山田つねさんと2750地区 峰英二さんの両ロータリアンがロータリーのポリオプラスの為に身を挺して尽力された、この事によりRIにポリオ撲滅運動が提唱され(1986年)これが国際ロータリーの運動として発展した。 2016年1月から8月24日迄でパキスタン13症例、アフガニスタン6症例となり、ナイジェリアが2症例と、パキスタンとナイジェリア共に2 症例と、6月迄より増えましたが、あと少しです。

今年はポリオ撲滅において非常に重要な年になります。伊勢志摩サミットのG7でポリオ撲滅の目標達成について再認識されました。次は日本独自の「米山記念奨学会」への理解と支援です。普通寄付と特別寄付があり金額の合算合計平均16,000円(1人/年間)をお願いしていますが「普通寄付」は日本の全てのロータリークラブからの寄付で、定款に基づきクラブで決定した金額の会員数分を半期に一度クラブを通じて納入する。「特別寄付」は個人、法人、ロータリークラブから普通寄付以外に任意で寄付されるもので金額も時期も問わない。ロータリー外からも受け付ける。

今年は、米山「サブクラブ」制度を取り入れます。今まで米山奨学生を一度も受け入れてないクラブの理解を深めるために行います。ロータリーの公共イメージ向上世界で行っている奉仕活動を地域社会で理解してもらい、ロータリーの奉仕活動を地域社会に知ってもらうことが重要で、メディアの活用です。本年はFMラジオ清水のマリンパルでロータリーのPR、地区ホームページの広報、IT推進委員会の所をクリックすれば聞くことが出来ます。今年度のFM放送は2016年7月から2017年6月まで毎月の最終土曜日で一年間です、時間は午前9:35-9:50迄。新聞にロータリーの活動が分かる写真記事が載る様PRする等。地区大会への参加(11月19-20) 東静岡 グランシップで開催

アトランタ国際大会参加登録料 ・2016年12月15迄 \$340 ・2016年12月16～2017年3月31日迄 \$415

ロータリーカードの加入の推進 My Rotaryの登録推進 2016年規定審議会はクラブ運営に大幅な柔軟性を認めました  
これらの決定には、例会の頻度、場所、方法、および会員種類に関する変更が含まれます。

今回の規定審議会の決定により、全てのロータリークラブは例会、クラブの構造、会員種類、について規定審議会が承認した新しいオプションを取り入れてクラブ細則を修正することが可能となります。ただし、これらの変更を加えないことを選択するクラブは、従来と同じ方法を取り続けることが出来ます。 ・例会の曜日と時間を自由に決定する ・必要に応じて例会を変更または中止する  
・奉仕プロジェクトまたは社交行事を「例会」とみなす ・直接顔を合わせる例会、オンラインでの例会、その両方を交互に行う例会、あるいは両方の方法を同時に用いる例会(例、直接顔を合わせる例会にオンライン[ビデオチャット]で参加する)のいずれかを選ぶ  
・出席要件、または出席要件を満たさなかった会員の終結に関する方針を緩める(または厳しくする) クラブは、少なくとも月に2回何らかの方法で例会を行う限り、例会頻度を減らすことが出来ます。ただし、各月の最終例会後15日以内に月次出席報告をガバナーに提出するという要件は変わりません。次の場合は出席規定の適用が免除される。理事会承認の条件と事態に従った欠席の場合。理事会は、正当かつ十分な理由による会員の欠席を認める権限を持つ。

(※以下省略させていただきます)

編集者 佐藤昌久